開かれた学校づくり委員会　第１回会議　議事録

1　開催日時　平成３０年６月２６日（火）　１３：３０～１４：３０

2　出 席 者（委　員）山口武人委員ほか９名

（事務局）渡邉教頭　青木事務長　高橋（智）教諭

3　議 事 等

【委員の委嘱】　本年度の「開かれた学校づくり委員会」委員として外部委員９名（詳細：別添名簿）を委嘱し、学校長より委嘱状を交付した。

【学校長挨拶】　本年度の本委員会では、学校評価の見直しや、児童・生徒が安心して学習するための安全対策などについて、提案させていただく予定である。本日は、学校評価について、骨子となる５つの柱について説明するが、より良い学校評価を実施するため、忌憚のない意見等をお願いしたい。

【議事】⑴委員長・副委員長選出

（事　務　局）　第１回会議の開催にあたり、本年度の委員長と副委員長を選出願いたい。

なお、「開かれた学校づくり委員会」設置要綱第６条第２項では、委員の互選によることとなっているが、どうか。

（委　　員）　事務局一任

（事　務　局）　事務局一任との意見をいただいたので、事務局提案を申し上げる。

（教　　頭）　委員長には、山口武人委員、副委員長には、本校校長渡辺あけみを推薦するがいかがか。

（委　　員）　異議なし

（事　務　局）　委員長が選出されたので、これ以降の進行を山口委員長にお願いする。

（委　員　長）　はじめに、監査委員・いじめ対策委員・学校評価委員を選出したい。

監査委員には、伊藤委員、学校評価委員には、田中委員、いじめ対策委員には、五日市委員にお願いしたい。

（全　委　員）　異議なし

【議事】⑵開かれた学校づくり委員会」運営方針及び年間計画について

（委　員　長）　本委員会の運営方針並びに年間計画について事務局より説明願いたい。

（教　　頭）　本委員会は、学校運営上の様々な課題について、学校と地域が連携し、また、

（教　　頭）保護者や地域の方々が学校運営や教育活動に主体的に参画するとともに、地域における学びの拠点となるよう、創意工夫をしながら開かれた学校づくりを進めるため設置されるものである。

委員の任期は、６月１日から翌年５月３１日までである。

次に本委員会の年間計画について説明する。

本委員会は、年間３回、会議を開催する予定であり、第１回会議では、このあと、学校評価に係わる取組状況について、意見をいただく予定である。

また、第２回会議は、１１月に予定しており、学校評価に係わる具体的な評価指標に対して、また、地域と連携した防災教育への取り組みについて意見をいただく予定である。

第３回会議は、１月に予定しているが、学校評価の検証結果や改善方策、また、次年度に向けた検討に対して、意見をいただく予定である。

（委　　員）　今年度の開催予定は、具体的に決まっているのか。

（教　　頭）　第２回は、１１月の火曜日、第３回は、１月の火曜日を予定しているが、後日、改めて、具体的な日程について調整したいと考えている。

（委　　員）　いじめ対策委員となったが、具体的には何するのか。

（教　　頭）　今後、いじめアンケートを実施していく際に、アンケート内容について相談させていただくことなどを考えている。

【議事】⑶学校評価に係わる取組状況について

（委　員　長）　次に「学校評価に関わる取組状況」について、事務局より説明願いたい。

（教　　頭）　本委員会において、昨年度からの検討事項として、評価項目の見直しについて意見をいただいているところである。

本校では、学校教育重点目標として、

１　一人ひとりのニーズに応じた指導・支援の徹底

２　基礎学力の定着

３　コミュニケーション能力の育成

を掲げ、児童生徒の未来につながるよう、指導の向上に努めてきたところである。

これを踏まえ、本年度は、「学校経営」、「学習指導」、「生徒指導」、「地域連携とセンター機能」、「安全教育」を学校評価の大きな柱とした。

（教　　頭）　特に、今年度は、地域と連携した防災教育や交通安全対策、人権教育・道徳教育の研究と実践が大きな取り組みなると考えている。

　また、各評価項目の具体的な評価指標については、第２回会議において提案したいと考えている。

（委　　員）　安全教育について、安全協会で安全指導にも協力を得られるのではないか。

（教　　頭）　その際には、協力をお願いしたい。

【議事】⑷１０００か所ミニ集会について

（委　員　長）　次に「１０００か所ミニ集会」について、事務局より説明願いたい。

（教　　頭）　本校では、毎年、病弱教育の現状を理解いただくため、学校公開及びミニ集会を開催している。

　特に、近々の教育課題をテーマとした講演会は、好評いただいているところであり、本年度は、学校医でもある、淑徳大学看護栄養学部　林　正晴教授を講師に迎え、「発達障害・二次障害の子どもを支える～学童期から青年期への支援」について講演いただく予定である。

　なお、県内特別支援学校、千葉市内の小中学校、県立高等学校には、すでに開催案内を周知し、開催に向け準備にあたっているところである。

（委　員　長）　参加対象者は誰か。どの程度の参加者数を予定しているのか。

　また、どのように広報するのか。

（教　　頭）　講演は、本校プレイルームで行う予定である。昨年度は、〇〇名が参加したので、本年度も同程度を予定している。それ以上、参加希望者が増えた場合、クーラーはないが、体育館で行うこととなる。

　また、広報については、開催案内を発送したところであり、ホームページ等でも広報する予定である。

（委　　員）　行事と重ならなければ、大学施設の利用も検討してはどうか。

（委　　員）　比較的安い経費で、地域に周知できる広報媒体もあるので、それを活用してみてもよいのではないか。

（教　　頭）　ミニ集会の当日は、まず、学校施設や公開授業を見てもらい、講演会やミニ集会を行う予定であるので、校内で講演会を行う予定であるが、田中委員の意見についても検討してみたい。

【議事】⑸その他

（委　　員）　先日発生した、大阪の地震では、ブロック塀が倒れて、児童が亡くなっている。

報道では、発災前に、市教育委員会等が学校に出向き、倒壊したブロック塀の安全性について確認し、倒壊の恐れはないと判断していたと報じられていた。

施設の安全性の確認については、第３者が行う方がよいと思うが、学校としては、どのように考えているのか。

（事　務　長）　先日の大阪での地震に伴うブロック塀の倒壊事故を受け、ブロック塀等、施設の安全点検の実施について、県から指示があり、本校においても、ブロック塀やその他の施設設備について、再度点検したところであり、倒壊する危険性のある施設設備は無い旨を報告したところである。

なお、県立学校については、次年度の施設設備の整備要望の際に、県の技術職員が現地に出向き、整備要望箇所を確認することとなっているため、その際、技術者の見地から確認が必要と思われることについては、県の技術職員が確認し、改善が必要なものついては、その都度対処してきているので、大阪と同様な事故は起きにくいもの考えている。

（委　　員）　この建物は、耐震改修は済んでいるのか。

（事　務　長）　県の施設については、耐震調査が実施され、調査結果が公表されている。県立学校等の県教育委員会が所管する施設については、調査結果を踏まえて、改修が必要となる施設に対する耐震改修工事は完了したと聞いている。

なお、先ほどの「第３者が安全性を確認する方がよいのではないか。」との委員からの意見については、法的に３年に１度、設計業者等の専門業者による図面や目視での建物に対する安全性の調査が義務付けられており、本校もその調査を実施してきている。ある意味、その調査が第３者的な観点で行われる調査とも考えられるが、建物の倒壊に繋がるような調査結果であるとの報告は受けていない。

（委　員　長）　その他、意見や質問等はあるか。なければ、これで議事を終了する。

【報告・諸連絡】

（事　務　局）　千葉県立仁戸名特別支援学校「開かれた学校づくり委員会」設置要綱の廃止について報告する。

（事　務　長）　本委員会については、平成２３年４月に、本校「開かれた学校づくり委員会」

（事　務　長）設置要綱を制定し、設置したところであるが、本年４月１７日付けの県教育委員会からの通知により、各校の開かれた学校づくり委員会の設置にあたっては、「県が策定する設置要綱に統一する」旨が示された。

本年度からは、県が策定した設置要綱に基づき、本委員会を実施することとなる。なお、本校本委員会設置要綱については、本年５月１１日付けで、廃止したので報告する。

（事　務　局）　次に、旅費ついて連絡する。

（事　務　長）　委員旅費について連絡する。本委員会に出席する際の、本校までの交通費等については、第３回会議の際に委員旅費として支給する予定である。なお、旅費支給対象者は「松ヶ丘地区」外から来校する委員とする。

（事　務　局）　次回以降の会議日程については、第２回、第３回会議を１１月及び１月に実施する予定である。なお、改めて日程調整を行うので承知願いたい。

以上をもって、第１回会議を閉会する。